

平成27年度 事業計画

I 事業活動方針

本県観光を取り巻く状況は、平成26年4月からの消費税増税や、夏期繁忙期における台風等の天候不順の影響などにより、平成25年度と比較してやや苦戦を強いられました。

しかしながら、県民の悲願であった東九州自動車道の県内開通（平成26年3月）や宮崎カーフェリーの神戸港就航（同年10月）、世界女子野球大会の開催（同年9月）、プロ野球オリックス・バファローズの本県キャンプ開始（平成27年2月）等の明るい話題も見られ、今後に期待の持てる1年となりました。

このような状況を踏まえ、本県の観光が、将来にわたり力強く、足腰の強いものとなるように、官民一体となってより一層積極的かつ効果的に取り組んでいく必要があります。

このため、平成27年度は主に以下について取組を進めます。

まず、観光の振興については、県、市町村、関係機関と更に連携を深め、各種メディアの活用、観光イベントなどの展開等により、積極的な観光PRに努めるとともに、エージェン特等とのタイアップによる効果的な誘客対策に努めます。

特に、国の「地方創生交付金」（「地域住民生活等緊急支援のための交付金事業」）を財源とする、いわゆる「旅行券」事業や関連PR事業等に積極的に取り組み、国内外からの観光客増加に努めます。

また、平成28年3月に予定される東九州自動車道の宮崎～北九州間の開通を睨み、県内市町村や広域観光推進協議会を構成する大分県とも連携し、引き続き北部九州、中四国からの誘客に取り組めます。

国外対策としては、国際定期便のある韓国、台湾からの誘客に加え、平成27年3月28日から運航される香港便（週2便）を有効に活用し、香港・中国からの誘客に努めます。さらに東南アジアについても、関係機関と連携し積極的にPRを行っていきます。

コンベンションの誘致については、学術会議等が集中する大都市圏で、主催事務局や大学、企業等の他、県内の大学等への誘致セールスを強化するとともに、開催決定権者であるキーパーソンやインセンティブ旅行を取り扱う旅行業者の招聘等に積極的に取り組めます。

東京及び福岡市において学術会議等誘致推進懇談会の開催をはじめ、日本政府観光局主催の国際ミーティング・エキスポ及び台湾・韓国・タイでの商談会・見本市に参加し、積極的にPR・誘致セールスを行います。

また、宮崎のMICE魅力アップを図るため、MICEメニューの開発を関係団体と連携して取り組むほか、MICEの意識醸成を図るセミナーを開催します。

さらに、宮崎県内の産学官が一体となった誘致体制の整備や、関係機関との連携を深め、積極的にMICE誘致を推進します。

「スポーツランドみやざき」の推進については、スポーツキャンプ・合宿の誘致で激化する地域間の競争に勝ち抜くために、県や受け入れを行う市町村、宿泊施設等と連携して本県ならではの特色ある受入環境の整備を推進し、「スポーツランドみやざき」の更なる魅力向上を図ります。

また、「2020年東京オリンピック・パラリンピック」や「2019年ラグビーワールドカップ」の開催を見据え、参加チームのキャンプを本県に誘致するために、県や競技団体等、関係機関と連携してキャンプ地に関する実態や動向等を把握するとともに、その前提となるオリンピック強化競技等の合宿を積極的に誘致します。

II 事業別取組

A 公益目的事業1	1,053,478千円
1 観光推進事業	766,314千円
(a) 国内対策事業	693,241千円
(1) 神話のふるさとみやざき」誘客促進事業	34,898千円
(2) 東九州自動車道を活用した観光誘客促進事業	10,000千円
(3) 教育旅行誘致・受入促進事業	3,035千円
(4) みやざきに来んね！神話のふるさと旅行券発行事業	462,998千円
(5) みやざきに来んね！神話のふるさとみやざきPR事業	182,310千円
①情報発信 知名度向上	<p>県外での観光イベント展等に参加し、観光PRを行うとともに、各種媒体を活用した情報発信を実施する。</p> <p>ア 観光イベント等参加</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 2015ひろしまフラワーフェスティバル(5月3～5日／広島市) 2) 神戸メリケンフェスタ (5月3～6日／神戸市) 3) 神戸まつり (5月17日／神戸市) 4) 夏旅フェアin岡山 (7月中旬日／岡山駅) 5) ツーリズムEXPOジャパン (9月下旬／東京都) 6) 四国(松山市・高松市)での観光PRイベント(時期未定) 7) 北部九州(福岡市ほか)での観光PRイベント(同) 8) 広島県内(広島市ほか)での観光PRイベント(同) 9) 大分市での観光PRイベント(同) ほか <p>イ 新聞・雑誌等広告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 宮崎日日新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞等、新聞媒体を活用した広告 2) 旅行雑誌、フリーペーパー等を活用した広告 <p>ウ 協会ホームページ「旬ナビ」による情報発信 (日本語、英語、中国語、韓国語)</p>
②キャリア・エージェント対策 (※)	<p>ア キャリア・エージェントとタイアップし、平成27年度下期、28年度上期の旅行商品造成に支援する。</p> <p>・タイアップ予定のエージェント各社 JTB、ANAセールス、日本旅行、JAL、JR九州、近畿日本ツーリスト、クラブツーリズム、よみうり旅行他</p> <p>イ エージェント招聘 エージェント各社の担当者を招聘し、県内観光地での現地研修、意見交換等を行い、宮崎に対する認知度を高めてもらう。</p>

(※) 宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業実施分を含む。以下同じ。

	<p>ウ 九州観光推進機構と連携して、エージェンツ関係者を対象に、国内各地で観光素材説明会を行う。</p> <p>1) 27年度下期 九州観光素材説明会（エージェンツ向け説明会・商談会） 東京、札幌、名古屋、大阪、広島、福岡 等</p> <p>2) 28年度上期 九州観光素材説明会（同） 東京、札幌、名古屋、大阪、広島、福岡 等</p>
<p>③宮崎恋旅プロジェクト (※)</p>	<p>恋旅プロジェクトについては、平成27年度から県観光推進課記紀編さん記念事業推進室において取り組むこととしている。</p> <p>協会においても、これまでの経緯を踏まえ、同室と連携した取り組みを進めることとする。</p>
<p>④教育旅行誘致強化 (※)</p>	<p>複数ある教育旅行誘致のための組織を統合し、オール宮崎で誘致を進めることにより、教育旅行実績の向上に努める。（事務局は協会に設置する）</p> <p>特に、宮崎カーフェリー神戸就航により、今後増加が見込まれる関西地区を重点地域としてセールスを実施するとともに、エージェンツの教育旅行担当者を招聘する。</p> <p>また、ニーズの高まりつつある農家民泊についても積極的にPRに努めることとする。</p>
<p>⑤記紀編さん記念事業関係 (※)</p>	<p>ア 記紀編さん1300年記念 神楽イベント等の実施 特に県外の大都市圏において、神楽を中心としたPRイベントを開催する。併せて、主要駅のデジタルサイネージ等を活用したPRを展開する。</p> <p>イ メディアを活用したPRの実施 大手出版社等とのタイアップによる雑誌広告、イベントの実施、WEBサイトの活用、モニターツアー実施など、いわゆるメディアミックスによる幅広い広告を展開する。</p> <p>ウ 神話巡りバスツアーの実施 前年度に引き続き、高千穂コース、宮崎・西都・西米良コースなど、県内各地の神話にまつわる名所、神社、史跡等を巡るバスツアー実施する。</p>
<p>⑥「食」の観光推進 (※)</p>	<p>「宮崎牛」を取り入れた商品造成等に支援することにより、「宮崎牛」のPRと同時に観光誘客に努める。</p>

⑦東九州自動車道関連	<p>平成28年3月に予定される宮崎～北九州間の開通を睨み、北部九州、中四国におけるPRを幅広く行うとともに、エージェントに対し東九州自動車道を活用した商品造成に支援することにより、これらの地域からの誘客に努める。</p> <p>PRイベントの予定等（再掲）</p> <p>ア 四国（松山市・高松市）での観光PRイベント（時期未定）</p> <p>イ 北部九州（福岡市ほか）での観光PRイベント（同）</p> <p>ウ 広島県内（広島市ほか）での観光PRイベント（同）</p> <p>エ 大分市での観光PRイベント（同） 他</p>
⑧みやざきに來んね！神話のふるさと旅行券発行	<p>「地方創生交付金」を活用し、県内の宿泊施設で幅広く利用できる「ふるさと旅行券」を発行し、県内外からの宿泊観光客の増加を図り、旅行需要・観光消費を喚起し、地域経済の好循環につなげる。</p> <p>ア 「ふるさと旅行券」のイメージ（案）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) コンビニエンスストア等での販売 5,000円の宿泊旅行券を2,500円で販売。（想定） 2) 宿泊予約サイトでの宿泊割引クーポン 3) 国内外のエージェントによる旅行商品への助成 旅行商品から10,000円分を値引きして販売。（想定） 4) スポーツ合宿専門エージェント等への助成 <p>※「旅行券」という名称であるが、事業内容によっては、必ずしも「券」を発行するものとは限らない。</p> <p>イ 予算額 「旅行券」枠：約4億円程度</p> <p>ウ 販売時期 平成27年5月（早ければ）～概ね1年間（予定）</p> <p>※事業詳細は、現在県と協議中。</p>
⑨みやざきに來んね！神話のふるさと宮崎PR	<p>「ふるさと旅行券」の利用促進、観光誘客のための幅広いPR事業を実施する。</p> <p>ア チラシ、ポスター、HPの制作</p> <p>イ プロモーション映像制作</p> <p>ウ キャンペーンブック作成</p> <p>エ 宿泊サイト、雑誌等での広告</p> <p>オ 各種イベントの開催 他</p> <p>※事業詳細は、現在県と協議中。</p>
(b) 国外対策 66,164千円	
(1) 東アジア等観光誘客推進事業 42,987千円	
(2) 外国人観光客受入整備事業 23,177千円	
①韓国対策（※）	<p>宮崎・ソウル定期便を利用したゴルフリゾートとしての定着を図るとともに、新たな観光素材PRのための韓国メディア招聘等を実施する。</p> <p>ア 旅行商品等のセールスプロモーション</p> <p>イ マスメディア・エージェント招聘・PR</p>

	<p>ウ エージェントへの支援 宮崎旅行商品を企画したエージェントに対して、送客支援及びバス支援を実施する。</p> <p>エ ゴルフ観光客の定着化 韓国人ゴルフ大会に対し、本県特産品を賞品として提供する等の支援を実施する。</p> <p>オ 韓国でのテレビショッピングによる宮崎旅行商品の販売</p>
<p>②台湾対策 (※)</p>	<p>中華航空宮崎・台北国際定期便を活用した誘客対策</p> <p>ア 旅行商品等のセールスプロモーション</p> <p>イ マスメディア・エージェント招聘・PR</p> <p>ウ エージェントへの支援 宮崎旅行商品を企画したエージェントに対して、送客支援及びバス支援を実施する。</p> <p>エ ゴルフ大会支援 台湾旅行社の主催するゴルフツアーで来県するゴルフコンペに、本県特産品等の賞品を提供</p>
<p>③中国対策 (クルーズ誘致を含む) (※)</p>	<p>ゴルフ客を中心とした富裕層の誘致を進めるため各種PR活動に努めるとともに、クルーズ誘致のために本県港湾や観光地のPRに努める。</p> <p>ア セールスプロモーションの実施</p> <p>1)北京、上海、大連等の大都市圏におけるPR等の実施</p> <p>2)クルーズ関係者等に対するPR等の実施</p> <p>イ エージェント・マスメディア招聘 ゴルフ客、クルーズ関係のエージェント等の招聘を実施する。</p> <p>ウ クルーズ関係商談会、見本市等への参加</p>
<p>④香港対策</p>	<p>平成27年3月28日に就航する香港定期便(週2便)を活用し、香港、中国からの誘客に努める。</p> <p>ア セールスプロモーションの実施</p> <p>イ エージェント・マスメディア招聘</p> <p>ウ エージェント支援 本県への送客を行うエージェントに対し送客等に対する支援を実施する。</p>
<p>⑤東南アジア地域誘客対策</p>	<p>今後、誘客が期待されるタイ、シンガポールを中心に誘客のためのPR等に努める。</p> <p>ア セールスプロモーションの実施</p> <p>イ エージェント・マスメディア招聘</p>
<p>⑥外国人観光客受入整備</p>	<p>今後の中国・東南アジア方面からの観光客増加を睨み、バス停、フェリーターミナル等での多言語案内版の整備、多言語パンフレット作成、周遊ルート造成等の支援を行う。</p>

(C) その他	6, 909千円
(1) 観光カレンダー制作	3, 700千円
(2) 観光情報活動推進	1, 071千円
(3) 観光キャンペーン	2, 138千円
2 コンベンション推進事業	98, 272千円
(1) コンベンション誘致事業	19, 473千円
①個別訪問誘致活動	当協会が積み上げたデータを基に、大都市圏での学術会議事務局や大学、企業、さらに県内の大学や各種団体等への訪問を強化しMICE誘致を図る。
②学術会議等誘致推進懇談会	誘致可能性のある学術会議等事務局や大学、企業関係者を対象に誘致推進懇談会を開催し、当協会のMICE支援制度等の説明や情報交換会を行い、MICE誘致を図る。 ア 東京開催 (H27.9月) イ 福岡開催 (H27.10月)
③国内外コンベンション・キーパーソンの招聘	学会関係者等コンベンション決定に係るキーパーソンや、インセンティブツアー等を扱う国内外の旅行業者を招聘し、宮崎の会議施設、アフターコンベンションとなる観光地等の視察を実施。
④国際コンベンション誘致活動	国際コンベンション、インセンティブ旅行の誘致を図るため、日本政府観光局主催の商談会・見本市への参加、さらに個別セールスを実施。 ア コンベンション商談会・見本市への参加 1) 台湾インセンティブ旅行現地セミナー (H27.6月：台北) 2) ソウルインセンティブマート (H27.10月：ソウル) 3) 国際ミーティング・エキスポ2015 (H27.12月：東京) 4) バンコクインセンティブマート (H28.2月：バンコク) イ 海外セールス (台湾、韓国、タイ)
⑤MICEメニュー開発	MICEの誘致促進を図るため、関係機関と連携してMICEメニューを開発。
⑥MICEセミナーの開催	産官学が連携してMICEを誘致する気運の醸成等を行うため、MICEセミナーを開催

(2) 開催支援事業（開催事務局及び参加者に対する支援）		74,913千円
① コンベンション開催支援補助金の交付	<p>基準を満たす九州規模以上の大会等について、コンベンション開催支援補助金を交付。</p> <p>※主なMICE</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第60回日本身体障害者福祉大会 (5月25～26日 参加者3,000×2日=6,000名 延宿泊者2,900名) ・I SIR & J SIR 2015 (5月27～30日 参加者1,300×4日=5,200名 延宿泊者4,500名) ・表千家同門会全国大会 (11月5～6日 参加者1,000×2日=2,000名 延宿泊者1,600名) 	
② その他の支援	<p>上記開催支援補助金対象外のコンベンションについて、歓迎看板設置や郷土芸能披露の支援のほか、観光パンフレット、飲食店ガイドマップ等を提供。</p> <p>さらに、主催者に魅力的な支援事業内容になるよう、開催支援制度の見直しを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 歓迎看板や横断幕・バナーの設置 イ 郷土芸能等の披露 ウ 各種パンフ(グルメ&ナイトマップ等)等の提供 	
(3) 広報・宣伝事業		2,140千円
パンフレット改訂増刷	コンベンションセールス用パンフレットの作成、改訂、増刷。	
(4) 調査・企画事業		1,746千円
① 調査・企画	コンベンション開催情報の収集及び提供。	
② 研修等参加	コンベンション推進団体の会議及び研修への参加。	
3 スポーツランド推進事業		35,963千円
(1) スポーツイベント等開催促進事業		12,900千円
スポーツイベント等開催促進	<p>ダンロップフェニックストーナメントをはじめ県内で開催される3つのプロゴルフ公式戦やプロ野球秋季教育リーグ、大規模アマチュアスポーツ大会として認知されている青島太平洋マラソン等、県内外から多くの観客や参加者が見込まれ、経済効果・PR効果ともに「スポーツランドみやざき」のブランド力を高めることが期待できる各種スポーツ大会の開催を支援。</p> <p>※主な新規スポーツイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日本男子バレーボール紅白試合(5月17日 観客者数3,000名) 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回三洋物産インターナショナルライフセービングカップ大会（7月18～20日 延参加者1,000名） ・第6回林和男杯国際野球大会兼九州連盟創立35周年記念全国選抜野球大会（7月24～28日 延参加者6,000名）
(2) スポーツキャンプ・合宿等受入支援事業 14,209千円	
① スポーツ キャンプ 盛り上げ 支援	<p>ア プロ野球やJリーグ等の地元協力機関等が実施する誘客のためのファンサービスイベントや賑わい創出事業を支援。</p> <p>イ 春季キャンプ期間の長いプロ野球について、街中に球団マスコット等を掲載したフラッグを設置し、キャンプの盛り上げ実施。</p>
② スポーツ キャンプ ・合宿団 体への県 産品贈呈	<p>プロ野球球団やJリーグチームをはじめ、本県でキャンプ・合宿を行う団体等に対し、歓迎の意を込めた県産品等の贈呈を行い、キャンプ・合宿の定着を図るとともに県産品のPRを実施。</p>
③ スポーツ キャンプ ・合宿等 受入支援	<p>ア 当協会及び市町村にある合宿支援制度を活用して、本県で合宿を行うチームを支援し、県内におけるキャンプ・合宿の通年化・多様化・全県化を図る。</p> <p>イ 選手のフィジカルパフォーマンスの向上を図る等、他県にない質の高いキャンプ・合宿の環境を提供するため、県や宮崎大学と連携し、スポーツメディカル支援事業等を実施。</p>
(3) スポーツキャンプ・合宿等誘致促進事業 1,200千円	
① 誘致セー ルス・P R	<p>ア 競技団体や実業団、合宿取扱エージェントへ積極的に出向きPRやセールスを実施し、キーパーソンの招聘を行う等、トップアスリートやチーム等を誘致。</p> <p>イ フェリーや高速バスなど交通機関が整備されている関西地区において、大学の競技団体や同好会等を対象とした「合宿セミナー」を開催し、本県の優れたスポーツ環境や受入環境をPRする等合宿を誘致。</p> <p>ウ 東九州自動車道開通後の移動時間の短縮等の効果が期待されることから、北部九州や中国、四国の実業団や大学・高校等へPR・セールスを実施し、新規合宿を誘致。</p> <p>エ サーフィンをはじめとするマリンスポーツ等を活用した観光客誘致のため、引き続き「波旅宮崎」のPRを実施。</p>

②	スポーツ キャンプ 誘客	プロスポーツキャンプ等への県外観光客誘致を促進し、「スポーツランドみやざき」をアピールするため、ポスターやガイドマップの作成・配布やソーシャルメディア等を活用した広報を展開。	
(4) 東京オリンピック・パラリンピック等おもてなし推進事業		5,704千円	
	誘致・研修	参加国のキャンプ地に関する実態や各国の動向調査を行い、キャンプを誘致するための課題等を把握し、市町村等関係機関と連携した誘致体制を強化。	
(5) 宮崎球援プロジェクト		1,010千円	
	野球ファン 交流イ ベン ト	プロ野球選手会と連携して野球ファンが集うイベント等を開催し、県内外からの誘客を図る。	
(6) ゴルフ王国宮崎振興事業		940千円	
	ゴルフフ ァ ン交 流イ ベ ン ト	県内で開催される三大ゴルフトーナメントと連携し、ゴルフファン拡大と県内外からの誘客を図る。	
4 宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業		74,000千円	
<p>口蹄疫により重大な影響を受けた本県観光の復興を図るため、宮崎県口蹄疫復興財団の実施する宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業を活用して様々な事業を行い、観光客の誘客等を実施する。</p> <p>(1) 教育旅行推進 (2) 記紀編さん1300年事業 (3) コンベンション等支援事業 (4) 海外誘客対策事業 (5) 「食」の観光推進事業 (6) 「スポーツランドみやざき」ステップアップ事業 (7) 記紀編さん1300年記念神話巡りバスツアー実施事業</p> <p>※ 上記1～3で一部再掲。</p>			
5 運営共通費		78,929千円	
B 公益目的事業2（観光みやざき振興基金事業）		8,805千円	
<p>(1) 観光チャレンジ応援事業 (2) スポーツイベント等開催支援事業</p>			